

# 日本ヒューレット・パッカード株式会社 × 釜石リージョナルコーディネーター（釜援隊）協議会

## 1. 概要：

釜石リージョナルコーディネーター協議会（通称：釜援隊）と連携し、日本ヒューレット・パッカード(株) および (株)日本 HP で働く 有志社員が日々の業務を通して身につけたビジネススキルや知識を活用し、被災地域で仮設住宅に住む人たちをサポートする団体やNPO に対しスキルアップを支援する活動をしています。2013 年 3 月に気仙沼で始めましたが、同年 11 月から縁あって釜援隊と一緒に活動することになりました。これまで計 8 回、土一泊二日の活動に、延べ約 100 名の社員が参加しました。（1 回あたり 10-15 名参加）。

復興途上にある釜石の地域社会の課題解決に貢献するのが第一の目的ですが、参加する社員が被災地の現実に触れ、改めて震災について考えるとともに、人との縁を肌で感じて釜石ファンとなっていくことも目的にしています。活動の企画・運営は社員が主導し、会社からは資金などのサポートを得ています。

## 2. 活動内容：



主な活動は、①講習会の実施、②被災地での観光再生支援モニターへの協力です。時間の経過と共に変化する被災地のニーズに合わせて私たちが出来ることは何かを、毎回スタッフメンバーが釜援隊と電話会議で話し合いながら企画します。同時に社内イントラネットを通じて他の社員へ参加を呼びかけ、オリエンテーションやリハーサルを実施して釜石に行きます。

### ①講習会：

復興に取り組む団体の方たちの課題として、効率的な情報共有や仕事の進め方、また外部に発信する力や伝えるスキルが弱い、というお話を聞き、コミュニケーションを主軸に、オリジナルの講座を作りました。回を重ねるごとに内容も発展し「今さら聞けない

ビジネスマナー」「ステップアップ! ビジネスコミュニケーション」、「相手も大切、自分も大切にする優しい自己主張」、「なぜなぜ分析～ロジカルシンキングの基礎～」などのテーマで、ワークショップ形式の講習を実施してきました。

### ②観光再生支援モニター：

観光の復興を目指して企画されるモニターツアーに参加し、どうしたら、より魅力的なツアーになるかフィードバックを行います。これまで、鉄の町釜石ならではの観光ツアー、沿岸地域での漁業体験、三陸駒舎の古民家での郷土料理、馬とのふれあいなどに参加し、観光客として、あるいはビジネスの視点から地域の方たちと意見交換を行いました。



## 3. 参加者の声：

講習会後のアンケートでは毎回受講者の 90%以上が「大変有意義」「有意義」と、高い評価を受けています。また「仮設住宅に住む方とのコミュニケーションに役立つ」「堅苦しくなく、楽しく学べた」「情報共有についての解決方法が得られた」などのコメントもいただいています。一方、参加社員にとってもこの活動は学びの多い体験であり、上述の目的どおり、震災について考えるとともに、釜石ファンになって帰ってきます。就業時間外に各自の予定を調整しながらの準備は正直大変ですが、その分達成感も大きく、リピーターになる社員も多くなります。

## 4. 講習の都内 NPO への展開：

昨年、今年と東京ボランティア・市民活動センターから依頼を受け、「施設・NPO のためのビジネス基礎講座」の中で講師を務める機会をいただき、釜石での講座内容をアレンジし、講習を行いました。復興支援として始めた手作り講習が、他の NPO の方たちにも役立つことがわかり、自信になりました。今後は都内でも展開していきたいと考えています。

## 5. 最後に：

震災から5年以上経ちましたが、今年8月に東北地方を襲った台風の被害も重なり、復興は一進一退を強いられています。釜石に行く度に、地域の皆様とのつながりを継続していくことが大切であると実感します。今後も地域に寄り添った復興支援を続けたいと思います。

第2回企業ボランティア・アワード受賞  
(2017年3月1日)